



資料1

令和4年度 兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会総会

「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた徳島県の実践について

兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会
(徳島県文化資源活用課)

「文化的調査」の経緯



文化的調査（平成27年～）

「芸術・文学」「観光・往来」「生業」の面から調査研究を実施

主な調査項目

【芸術・文学】

- 原始・古代・中世の鳴門海峡
- 古典文学、古地図、地図にみる「鳴門の渦潮」
- 江戸時代絵画に描かれた鳴門海峡

【観光・往来】

- 19世紀における撫養湊の発展と淡路廻船
- 徳島藩蜂須賀家の鳴門海峡支配
- 「観光地・鳴門」の形成・発展とメディア
- 西洋人の目からみた「鳴門の渦潮」

【生業】

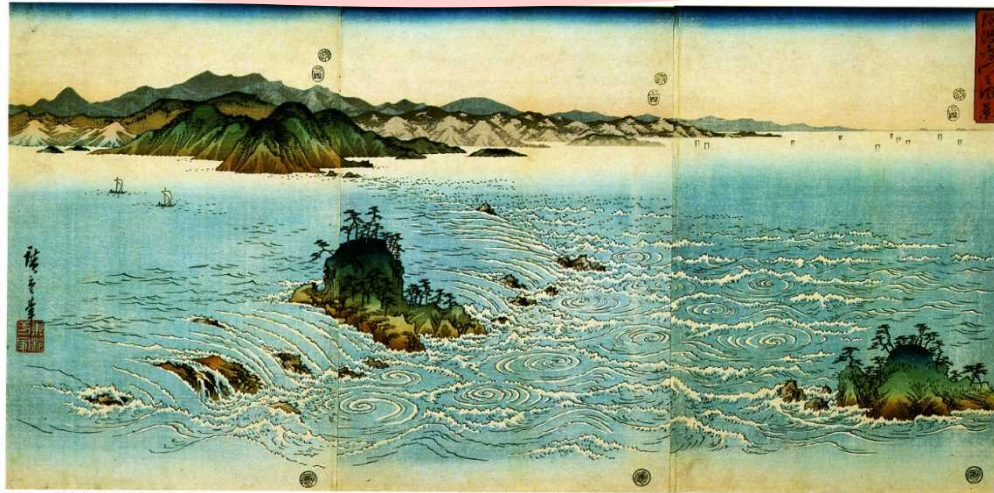
- 鳴門海峡における漁業と鳴門の漁民－「鳴門鯛」と「鳴門わかめ」－
- 淡路島と鳴門市域の塩業－土器製塩から現代の塩業まで－



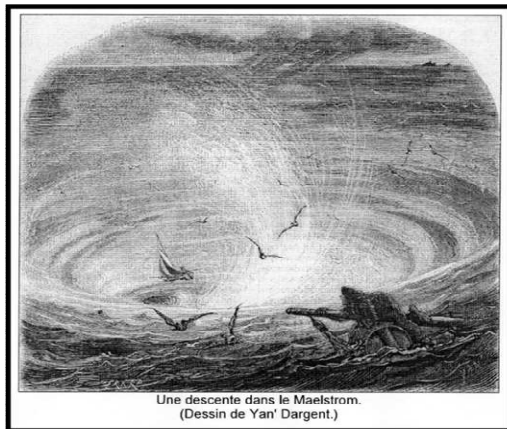
「鳴門海峡の渦潮」の芸術・文学的側面



「鳴門の渦潮」が芸術の源泉に



歌川広重『阿波鳴門之風景』(安政4年:1857年)



エドガー・アラン・ポー
『メエルシュトレエムに吞まれて』



『カルタ・マリナ』

海外でも渦潮が芸術作品に登場

神話の舞台



「天之瓊矛(あめのぬぼこ)を以て
滄海を探るの図」

小林永濯(アメリカ・ボストン美術館 蔵)

鳴門海峡の景観を鑑賞してきた歴史（観光）



徳島藩御召鯨船千山丸（江戸時代の和船）【日本最古】



「名勝」鳴門
（観潮の「最も好適な場所」として指定）



千畳敷（明治時代～）



渦の道（現代）



観潮船（現代）

鳴門海峡が育む食材



鳴門鯛

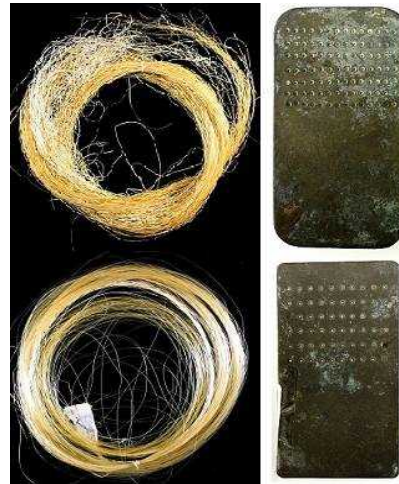


鳴門わかめ

鳴門海峡での漁の工夫



カンコ舟

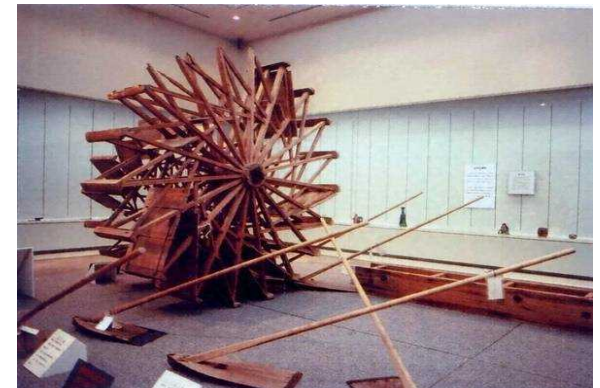


テグス

鳴門海峡の地形を活かした製塩



福永家住宅(国重文)



鳴門の製塩用具
(国重要民俗文化財)

これまでの成果と課題

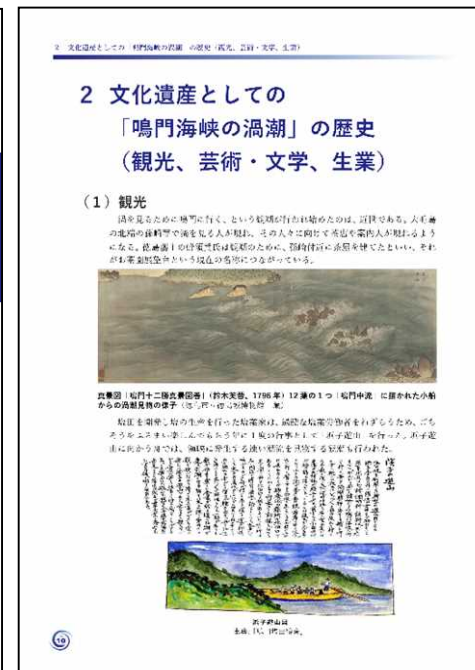
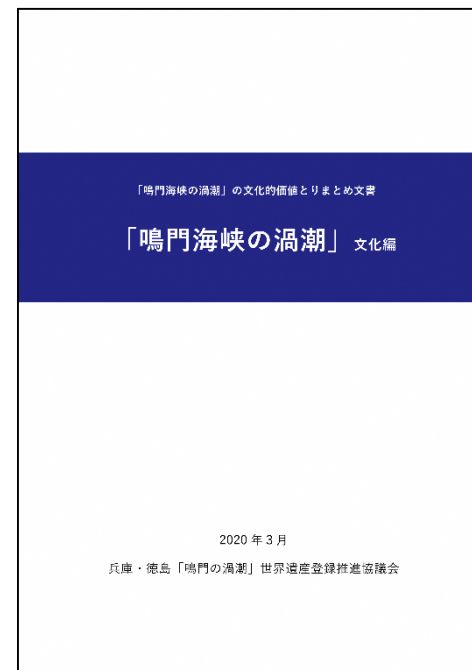


鳴門海峡の渦潮を世界遺産へ

「文化的価値」のとりまとめ 文書（令和元年度）

多面的な調査結果の中から
「文化的価値」が高いものを
整理しとりまとめ

国へ報告・提出（令和2年度）



課題

- 「鳴門の渦潮」が発生する「大鳴門」だけでなく、「小鳴門」エリア、**「淡路島」**を含めた面的な調査が必要
- 文化的調査を担う専門委員が、徳島側専門家中心であり、兵庫県（淡路島）側の専門家が必要

令和4年度の文化的調査



「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクト

学術調査の推進体制



「鳴門の渦潮」調査研究チーム

メンバー

(座長)

藪田 貫 「鳴門の渦潮」調査研究
プロジェクト実行委員会会長
(兵庫県立歴史博物館長兼
ひょうご歴史研究室長)

(委員)

坂江 渉 ひょうご歴史研究室・
研究プロジェクトリーダー
他6名

「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクト

○研究内容

鳴門の渦潮と淡路島の文化遺産の調査研究を行う

○令和4年度の実施状況

- (1)「淡路島と鳴門の渦潮」調査研究会(第1回)
(令和4年7月23日)
- (2)「淡路島と鳴門の渦潮」調査研究会(第2回)
(令和4年9月17日・18日)

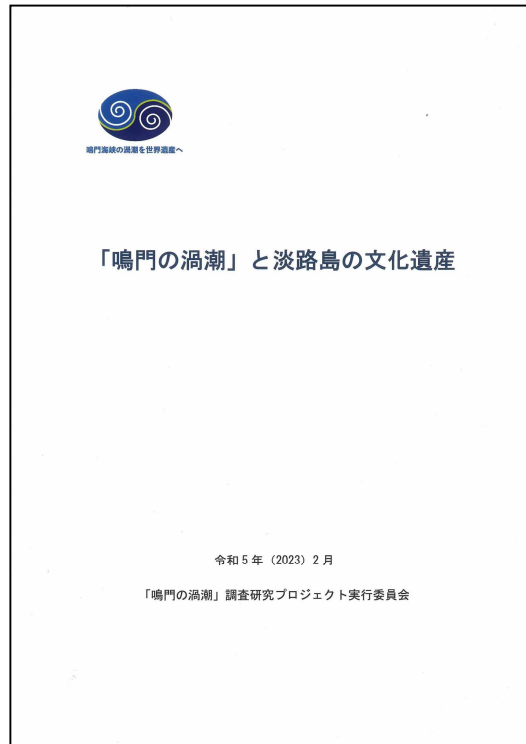
文化側委員と自然側委員の情報交換や
報告書の中間報告会を実施



報告書の刊行へ

「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクト（淡路島文化財総合調査）

「『鳴門の渦潮』と淡路島の文化遺産」報告書刊行



目 次	
刊行にあたって	・ 藪田 貴 ・ 1
本文編	
『国生み』神話と鳴門の渦潮 ―淡路の海人の祭祀習俗―	・ 坂江 渉 ・ 7
国家形成期における淡路と阿波	・ 吉市 晃 ・ 17
源平合戦と淡路国の武士	・ 福家清司 ・ 29
中世淡路島南部をめぐる海域世界と交通 （補論）羽柴秀長の鳴門海峡渡海と渦潮	・ 大村拓生 ・ 39
阿波・淡路の水軍と城郭（海城）	・ 山上雅弘 ・ 51
『細良古事記』と鳴門海峡地域	・ 木村修三 ・ 67
漁具・漁労技術と漁民の移動性 ―兵庫・淡路・あま市・沼島を中心にして―	・ 蔵本宏紀 ・ 94
『鳴門の渦潮』周辺の歴史的経緯 ―『淡路国分間給図』の活用に向けて―	・ 藪田 貴 ・ 104
資料編（原）	
えびす間連記述一覧と解題	・ 117
『淡路国分間給図』一覧と解題	・ 132
鳴門海峡周辺関連年表	・ 138
資料編（訳）	
『鳴門の渦潮』発生メカニズムの解明（Ⅰ） ―渦潮の動態実測調査による渦潮の定量的評価―	・ 上嶋英機 ・ 147
『鳴門の渦潮』発生メカニズムの解明（Ⅱ） ―水連模型実験による海峡地形と渦潮の関係性の検証―	・ 上嶋英機 ・ 153
淡路島の地形と地質 ―砂嘴・砂州の形成と神話との関わり―	・ 加藤茂弘 ・ 159

淡路島における文化分野の調査が進展

(1) 出前授業・出前講座の開催

- ・徳島県職員が、県内の高等学校・小学校や関係団体の研究会(四国ブロック・ユネスコ活動研究会)において、世界遺産登録に向けた授業・講演を実施

(2) 鳴門第一中学校油彩画作品展・「鳴門の渦潮」世界遺産パネル展

地元中学校と連携し、生徒達が描いた鳴門にまつわる文化財の作品展と世界遺産の取組パネル展を「県内各地」で開催



鳴門市役所 鳴門市民ギャラリー



県庁すだちくんテラス

令和4年度の普及啓発等(2)



(3) 鳴門公園海岸線の清掃活動

鳴門市大毛島で「鳴門海峡の渦潮を世界遺産にする会」による
クリーンアップ作戦(海岸清掃活動)を3月12日に開催予定

(4) 「渦潮を世界遺産に！」PR活動

本州四国連絡高速道路株式会社のご協力により
淡路島南PAにおいてPRイベントを実施
現在も同PAにおいて世界遺産登録に向けたブースを展示中

(5) その他



ラッピングバス運行



リーフレット配布



淡路島南PAにおける
ブース展示

令和5年度の主な取組

学術調査

- ・「鳴門の渦潮」調査研究チーム調査の継続
→ 分間絵図を元に歴史地理学に基づいた調査を実施
- ・今年度作成した調査報告書の関係機関への周知



普及啓発

- ・「価値のとりまとめ文書」「ガイドマップ」を活用した出前講座・授業等
- ・鳴門公園海岸線の清掃活動の実施
- ・旧製塩施設とタイアップした広報活動の実施
- ・パネル展、絵画展の開催
- ・パンフレット等PRツールの作成・配布

